

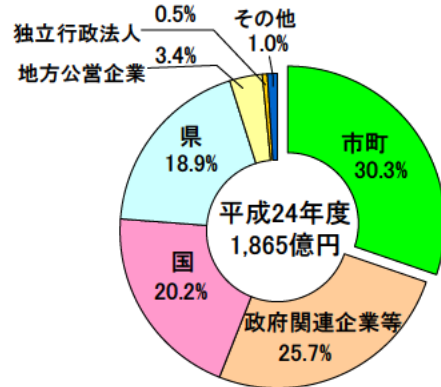
# 建設・住宅

## 建設

平成24年度の公共工事の件数は1,879件で、前年度に比べ99件（5.6%）増加しました。契約額は、1,865億円で前年度に比べ222億円（13.5%）増加しました。

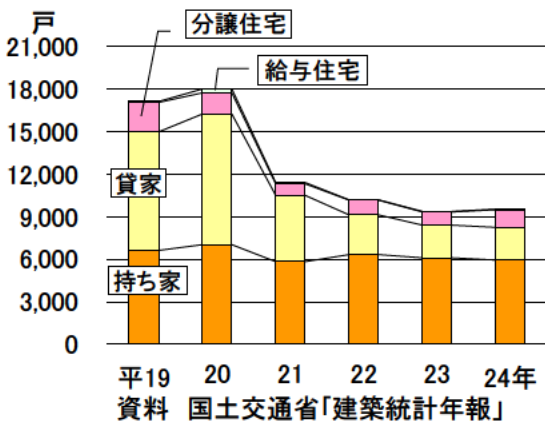
発注者別の契約額割合で見ると、市町が30.3%（565億円）、政府関連企業等25.7%（480億円）、国20.2%（377億円）、県18.9%（352億円）、地方公営企業3.4%（63億円）、独立行政法人0.5%（10億円）などとなっています。

図26 発注者別公共工事費割合



資料 国土交通省「建設工事受注動態統計調査報告」

図27 利用関係別着工新設住宅の推移



資料 国土交通省「建築統計年報」

## 住宅着工

平成24年中に着工された新設住宅は9,554戸で、前年に比べ162戸（1.7%）増加しました。

利用関係別にみると、持ち家が5,945戸（構成比62.2%）、貸家2,321戸（同24.3%）、分譲住宅1,242戸（同13.0%）、給与住宅46戸（同0.5%）となっています。

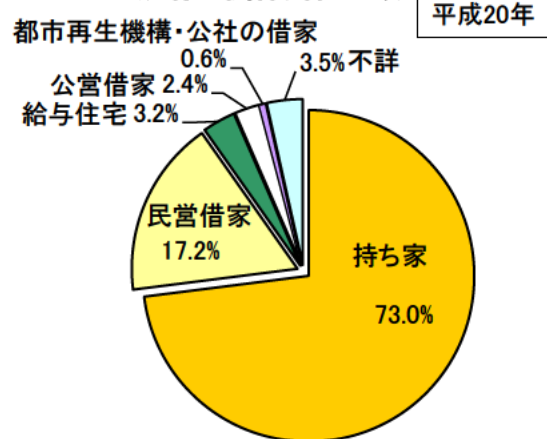
また、資金関係別にみると、民間資金による住宅7,858戸（構成比82.2%）、住宅金融支援機構融資資金による住宅が1,097戸（同11.5%）などとなっています。

## 住宅

平成20年10月1日現在（住宅・土地統計調査）の住宅総数は79万1,000戸となりました。

また、住宅総数のうち居住世帯のある住宅総数68万900戸について住宅の所有関係別にみると、持ち家49万7,000戸（構成比73.0%）、民営借家11万7,300戸（同17.2%）、給与住宅2万2,000戸（同3.2%）、公営借家1万6,600戸（同2.4%）などとなっています。

図28 所有の関係別住宅数



資料 総務省「住宅・土地統計調査報告」